

帯状疱疹発症予防のために帯状疱疹ワクチンの接種をしましょう

(対象年齢：50歳以上) (要予約；0438-72-9916 (内科受付))

新しい帯状疱疹ワクチン サブユニットワクチン：シングリックス®の接種も可能となりました



帯状疱疹は誰もがなり得る疾患で、発症すると日常生活や仕事などに大きな支障を及ぼします。特に、50歳以上で発症しやすく、80歳までに3人に1人がかかるとされています。また、一度かかったことがある方でも再発することも少なくありません。帯状疱疹はワクチンを接種することで予防が可能です。

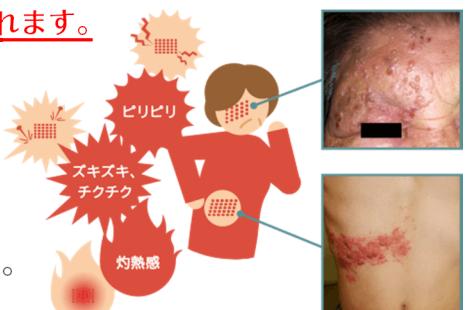
50歳になったら、また、50歳以上で帯状疱疹ワクチンの接種を行ったことのない方は、帯状疱疹ワクチンの接種を行いましょう。

日本では2016年3月より帯状疱疹ワクチン接種が行われるようになっていましたが、これまで日本では生ワクチン（乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」®）しかなく、免疫抑制剤使用中などの理由で接種できない方がおられました。しかし、2020年1月よりサブユニットワクチン（シングリックス®）が使用できるようになりました。免疫抑制剤使用中などでも接種可能となりました。また、サブユニットワクチンはこれまでの生ワクチンに比べて帯状疱疹予防効果がすぐれているとされています。

帯状疱疹とは・・・

【症状】初期症状は皮膚の痛みやかゆみ、その後に発疹や水疱が帯状に現れます。

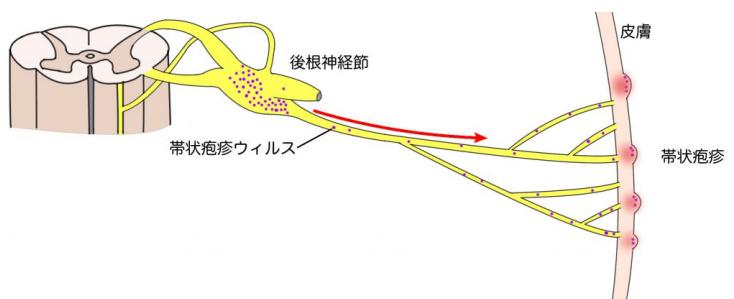
個人差があるものの、多くは、はじめに皮膚に痛みが生じます。以後、水疱を伴う赤い発疹が帯状に現れ、徐々に痛みが強くなり、眠れないほど痛むこともあります。症状は、神経の走行に沿って、体の左右のどちらか一方に帯状にみられます。腕や胸、背中など、多くは上半身にみられるが、顔や首などに生じることもあります。3~4週間ほど続きます。



特に痛みは強烈で、あまりの痛さに、仕事や日常生活に支障をきたすことが多くみられます。

【原因】子供の頃にかかった水ぼうそう（水痘）のウイルスが原因！

子供の頃、水痘・帯状疱疹ウイルスに初めて感染すると水痘を発症します。その後、水痘が治っても、ウイルスは体から追い出されたわけではなく、そのまま脊髄から出る神経節に潜んでいます。普段は免疫力によってウイルスの活動が抑えられていますが、何らかの原因で免疫力が低下するとウイルスは抑えがきかず暴れだし、神経の走行に沿って神経節から皮膚へと移動し、帯状に発疹を生じます。また、直接神経が刺激されるので、大変強い痛みを伴います。



【発症しやすい年齢】50歳以上で発症しやすく、80歳までに3人に1人が経験します。

日本人の約90%が帯状疱疹となるウイルスを持っていると言われています。したがって、誰もが帯状疱疹になり得ると言っても過言ではありません。



【治療】抗ウイルス薬（経口内服薬・点滴静注剤）・鎮痛薬・外用薬で治療します。

【合併症・後遺症】50歳以上では、約2割の患者さんに長い間痛みが続く帯状疱疹後神経痛を生じます。

また、失明・耳鳴り・難聴・めまいといった後遺症を生じることもあります。

多くの場合、皮膚症状は軽快します（一部の方に色素沈着（アザ）が残る方がいます）が、問題は痛みで、約2割の方に、3～4週間といわず、6か月以上、場合によっては10年以上にわたって痛みが残る方がいます。この長い間続く痛みを、帯状疱疹後神経痛といいます。その間は、鎮痛剤を飲み続けたり、ブロック注射という麻酔薬を定期的に神経に沿って注射をして、痛みを緩和することが必要な方もいらっしゃいます。

また、目の近くに帯状疱疹を生じると失明したり、耳の近くに生じると耳鳴り・難聴・めまいでの、ずっと悩まされ続けられる方も少なくありません。

【予防】帯状疱疹には、予防するワクチンがある（対象年齢：50歳以上）

帯状疱疹の予防には、50歳以上の方を対象としたワクチンがあります。予防接種は帯状疱疹を完全に防ぐものではありませんが、たとえ発症しても軽症ですみ、帯状疱疹後神経痛などの後遺症の予防にもつながるとされています。



現在、日本では2種類の帯状疱疹ワクチン（生ワクチン・サブユニットワクチン）があり、それぞれ長所・短所があります。医学的には、より予防効果が高く、副反応も許容範囲内で、より予防効果持続期間が長く、禁忌例も少ないサブユニットワクチン：シングリック®の接種が推奨されますが、生ワクチン：乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」®に比べ高価であるのが難点です。現時点では、生ワクチン接種を原則とし、生ワクチン接種が出来ない方はサブユニットワクチン接種を選択することが現実的かと思われます。

| ワクチンの種類 | 生ワクチン | サブユニットワクチン |
|-------------|---|--------------------------|
| | (乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」®) | シングリックス® |
| 接種方法 | 1回：皮下注射 | 2回：筋肉注射（2ヶ月間隔をあけて） |
| 帯状疱疹発症予防効果 | 51.3% | 97.2% |
| 帯状疱疹後疼痛予防効果 | 66.5% | 88.8%（70歳以上） |
| 予防効果の持続期間 | 7～8年で21～32% | 9年以上（2020年現在） |
| 日本での使用開始年月日 | 2016年3月 | 2020年1月 |
| 全身副反応頻度 | <1% | 11%（筋肉痛が多い） |
| 使用出来ない方 | ・抗がん剤や免疫抑制剤、ステロイドを使用中の方 ・HIV患者 ・妊娠中 ・本剤使用でアナフィラキシーを呈したことがある人 | 本剤の使用でアナフィラキシーを呈したことがある人 |
| 価格（税込） | 7,100円 | 24,000円（2回で、48,000円） |